

TOTO

アルカリ7ビルトインタイプ(TEK511B1X)施工説明書

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。取付後は、お客様にご使用方法を十分ご説明ください。

安全のために必ずお守りください

取付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

- この説明書では機器を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、△注意の表示によってお知らせしています。



注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。



注意

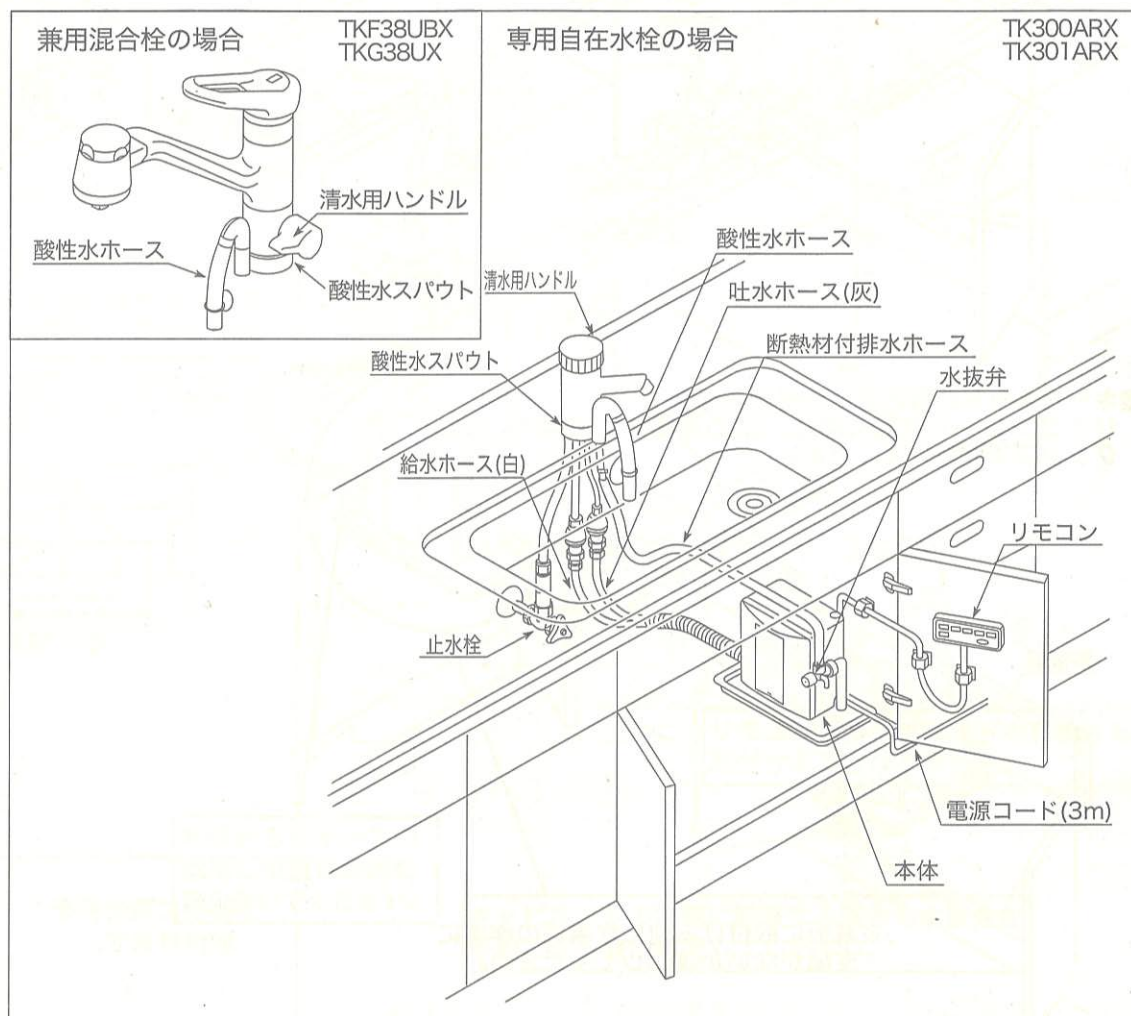
取付けの際は、この施工説明書及び同梱の取扱説明書をよくお読みの上、取付けてください。
取扱説明書に記載の種々の傷害及び物的損害が発生することがあります。

取付前のご注意

1. 凍結のおそれのある場所には設置しないでください。
アルカリ7ビルトインタイプは寒冷地用ではありません。
2. 酸性水スパウトを取付けると、既設水栓に対して本体の高さが約20mm高くなりますので、既設水栓の上に棚等がある場合には、ハンドル操作等に支障がないか確認してください。
3. 給水栓にはストレーナ付のものをご使用ください。
アルカリ7の目詰りの原因になります。

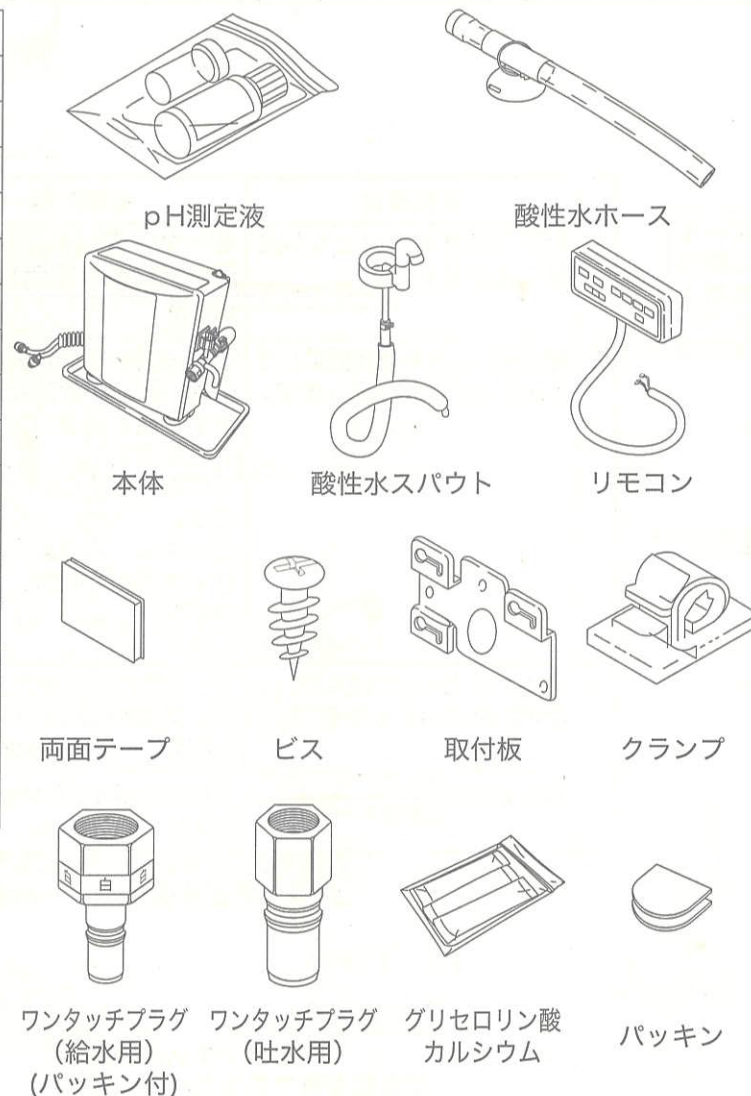
この製品は、清水器専用自在水栓(TK300ARX、TK301ARX)、及び清水器兼用混合栓(TKF38UBX、TKG38UX)とセットで使用することで、ビルトインタイプのアルカリ7として使用することができます。

完 成 図



梱包明細

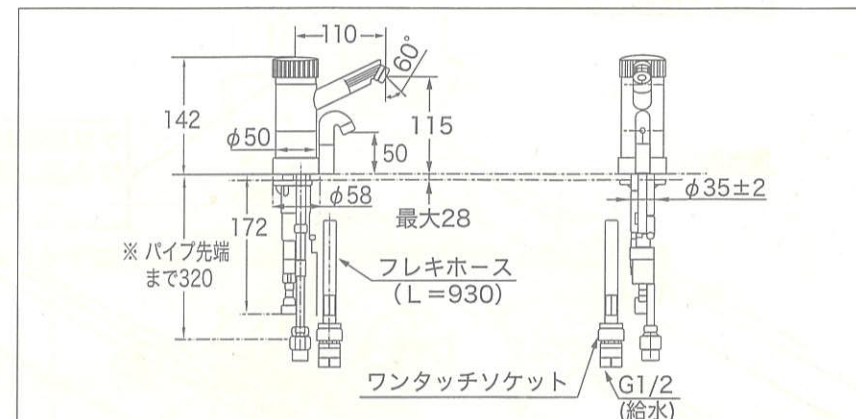
名 称	個数
本体 (ホース付)	1
ワンタッチプラグ(給水用)	1
ワンタッチプラグ(吐水用)	1
酸性水ホース(吸盤付)	1
酸性水スパウト(ホース付)	1
リモコン(ケーブル付)	1
取付板(リモコン取付用)	1
両面テープ(リモコン取付用)	1
ビス(リモコン取付用)	3
パッキン(リモコン取付用)	1
クランプ(リモコン取付用)	5
pH測定液	1
グリセロリン酸カルシウム	1
取扱説明書	1
施工説明書	2
取扱説明シート	1
アンケート葉書	1



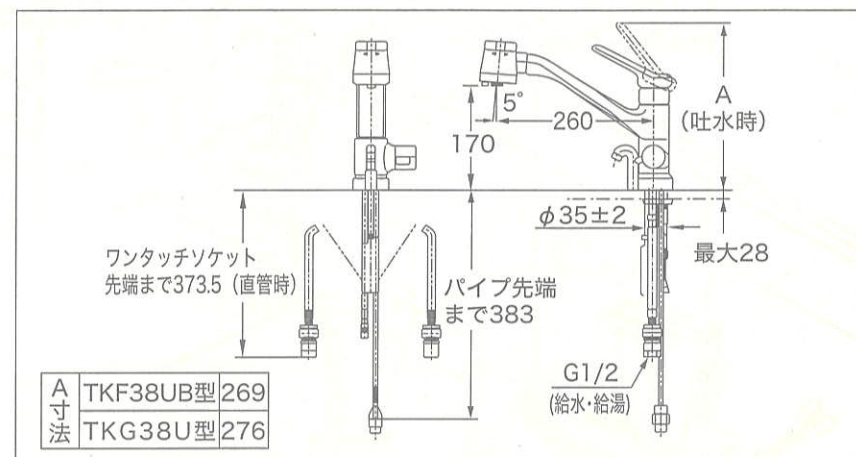
寸法図

アルカリ7ビルトイン用水栓に組替後の寸法図。

専用自在水栓(TK300ARX)の場合



兼用混合栓(TKF38UBX)の場合



※TK300ARX及びTK301ARXのカウンター下部の仕様と取付方法は同じです。

※TKF38UBX及びTKG38UXのカウンター下部の仕様と取付方法は同じです。

※酸性水スパウトを取付けた場合、既設水栓の高さが約20mm高くなります。既設水栓の上に棚等がある場合は、ハンドル操作等に支障がないことを確認してください。

また、メイン水栓のスパウトとの干渉がないことを確認してください。

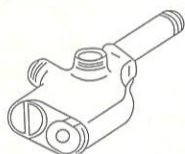
00.9.05

清水器用水栓の取外しと組替(TK300ARX,TK301ARX,TKF38UBX,TKG38UX)

※必ず止水栓を閉じてから作業を始めてください。

注) 新規に設置される場合は、「2. ビルトインタイプアルカリ7用水栓への組替」よりお読みください。
また、一般水栓の水側止水栓より分岐される場合は、別売の分岐付止水栓(TK300CX)をご用意ください。

分岐付止水栓



TK300CX

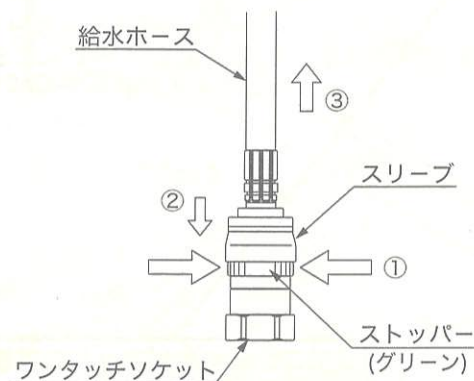
1. 清水器水栓の取外し

(1) 給水ホースの取外し(図A)

①グリーンのスッパを左右から押し込み、②スリーブを下げて、③給水ホースを引き抜いてください。

取外し方法

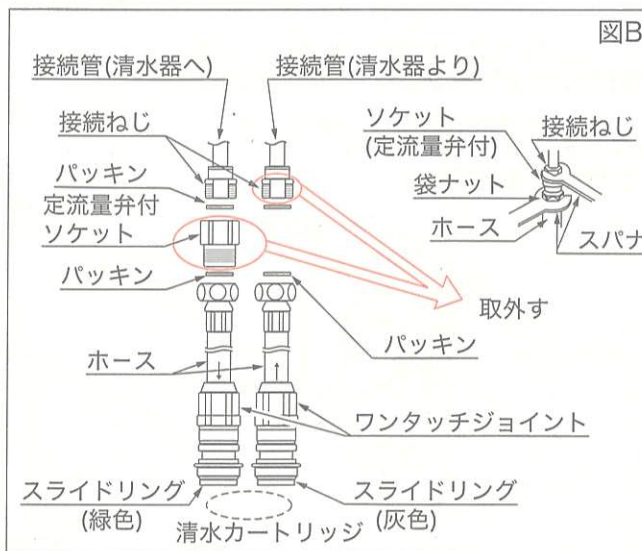
図A



(2) 清水器カートリッジ(TK300BNX)の取外し(図B)

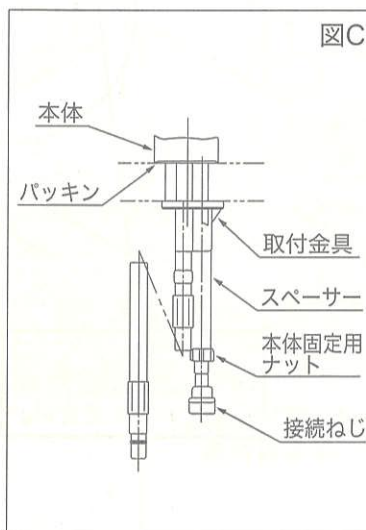
アルカリ7を取付ける場合、定流量弁付ソケットと接続管(清水器より)の接続ねじは不要となりますので、取外してください。

定流量弁付ソケットを付けたままアルカリ7を取付けると、流量が少なくなることがあります。

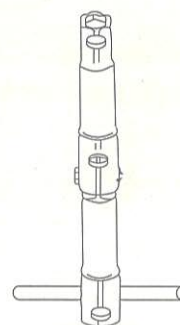


(3) 水栓本体の取外し(図C)

接続管(清水器より)の接続ねじを外し、本体固定用ナットを別売のナット締付専用工具(TZ40L)を利用して外し、スペーサー、取付金具を外してください。



別売・締付専用工具(TZ40L)



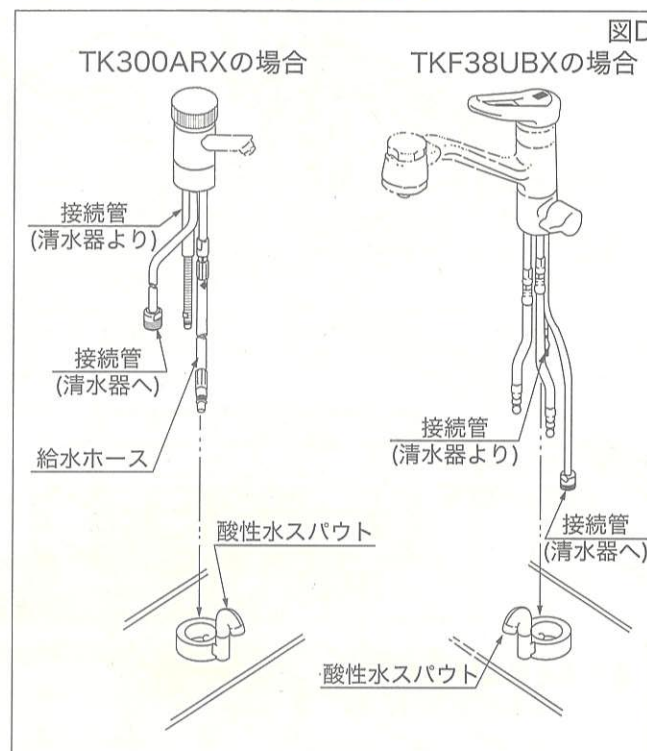
2. ビルトインタイプアルカリ7用水栓への組替

(1) 酸性水スパウトの取付(図D)

酸性水スパウトを水栓取付穴にシンク正面に向けて取付けてください。

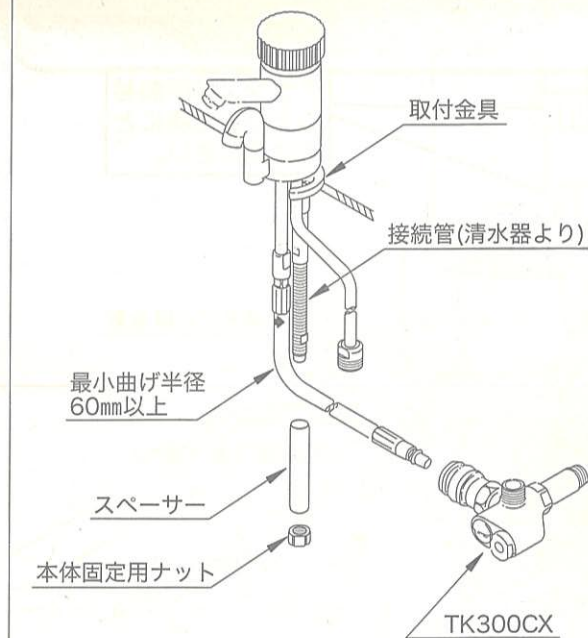
図のように酸性水スパウトと清水器水栓の正面を合わせて接続管(清水器へ)、給水ホース、接続管(清水器より)の順に取付けてください。

※清水器水栓は、接続管(清水器より)が後ろ側にあるときが、正しい位置です。



(2) 清水器用水栓及び酸性水スパウトが正面を向くようにし、酸性水スパウト台座の中心と清水器用水栓の中心を合わせるよう注意しながら、接続管(清水器より)に取付金具、スペーサーを通して、本体固定用ナットを別売のナット締付専用工具(TZ40L)を利用して確実に締めてください。(図E)

図E



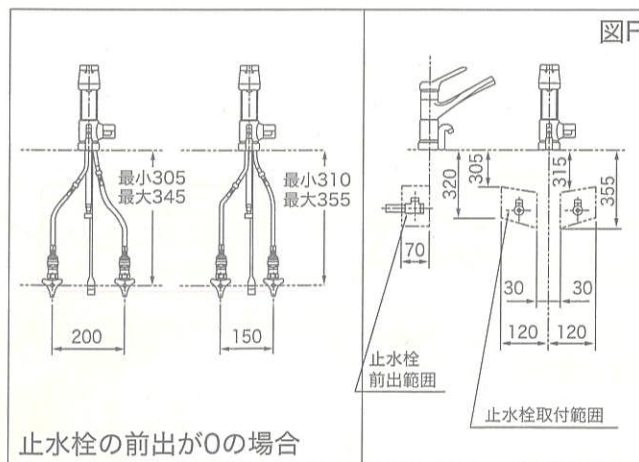
※給水ホースの折れにご注意ください。

ホースを最小曲げ半径(60mm)より小さく曲げて使用しますと、ホースが折れることがあり、折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。施工時には、最小曲げ半径(60mm)よりも小さく曲げないようにご注意ください。

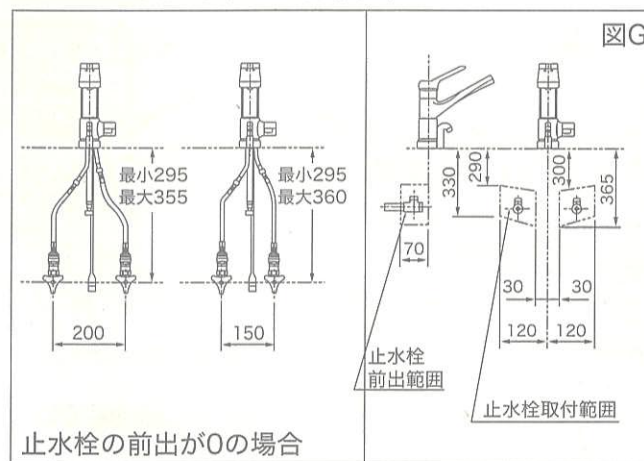
※ホース同士の不要な接触は避けてください。
(TKF38UBX、TKG38UXの場合)

※TKF38UBX、TKG38UXのホースの施工については、図に示す条件又は範囲内の止水栓位置にて施工が可能です。

ストレート型止水栓の場合(図F)



アングル型止水栓の場合(図G)



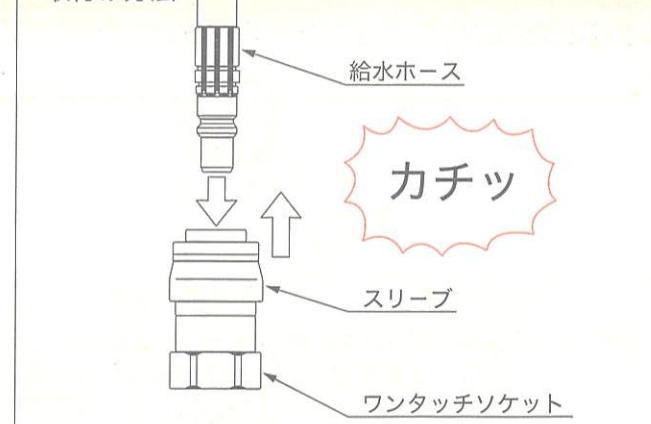
(3)給水ホースの接続(図H)

給水ホースをカチッと音がするまで確実に差し込んでください。スリーブが移動してグリーンのスTOPパーが見えます。

差し込み後給水ホースが抜けないことを確認してください。

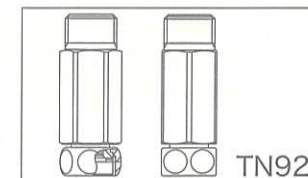
取付け方法

図H



※酸性水スパウトを取付けると水栓の高さが高くなり、給水ホースの届く範囲が短くなります。

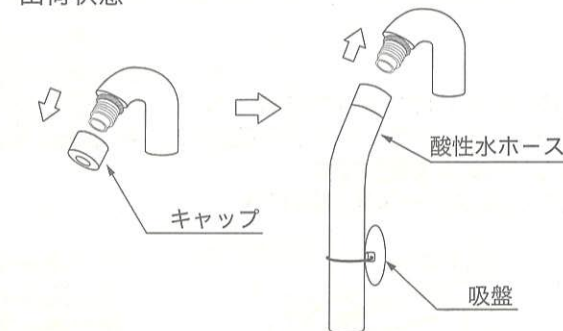
ホース長さが足りない場合は、別売のつぎたしソケット(TN92)をご使用ください。



(4)酸性水ホースの取付け

出荷状態

図I



酸性水スパウト先端のキャップを外し酸性水ホースを取付けて吸盤でシンク内に固定してください。

※酸性水ホースは必ず取付けてください。

(活性炭加熱洗浄中は酸性水ホースより蒸気がでます)

ウラ面につづく

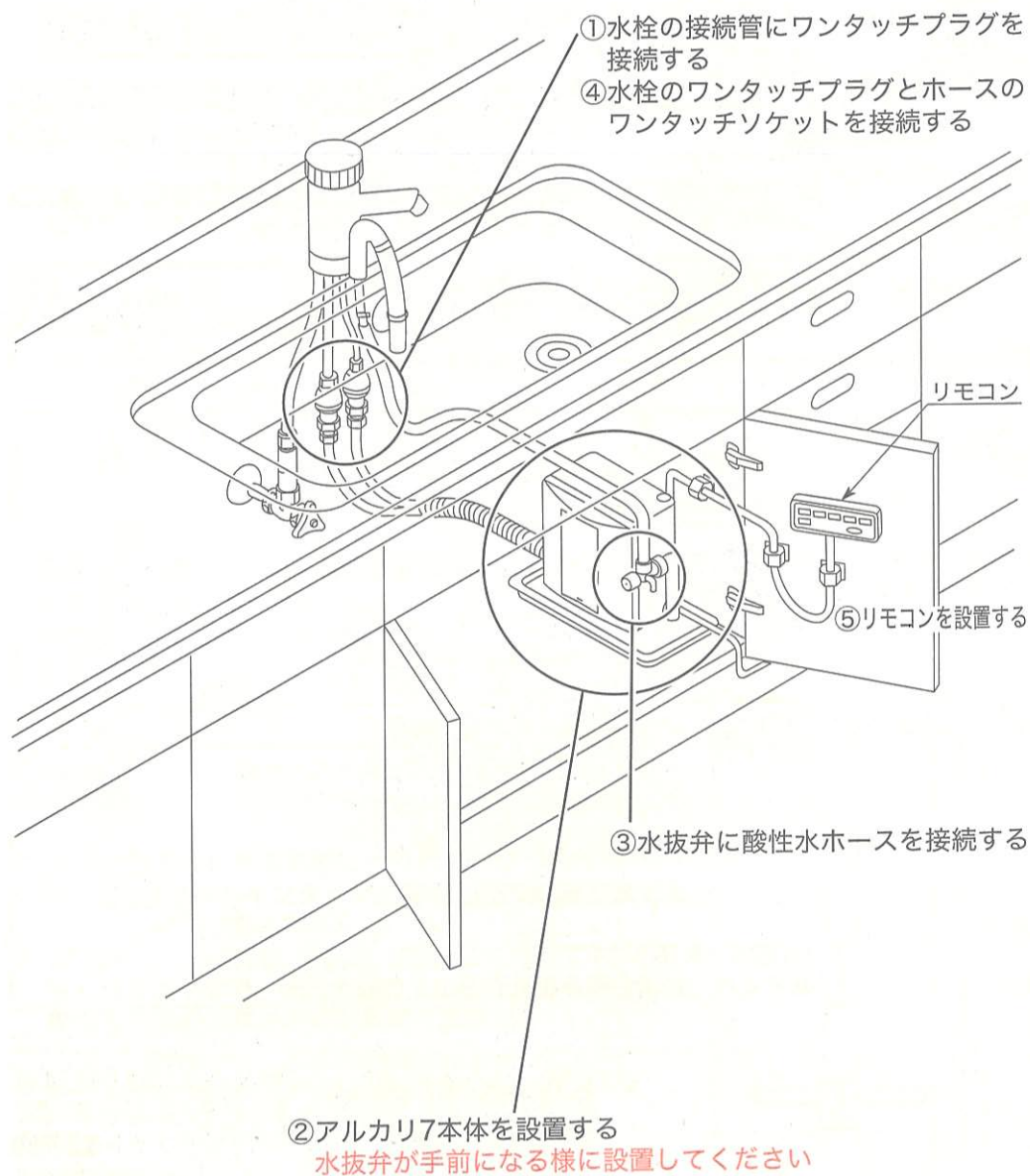
再生紙を使用しています。

※同梱の取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

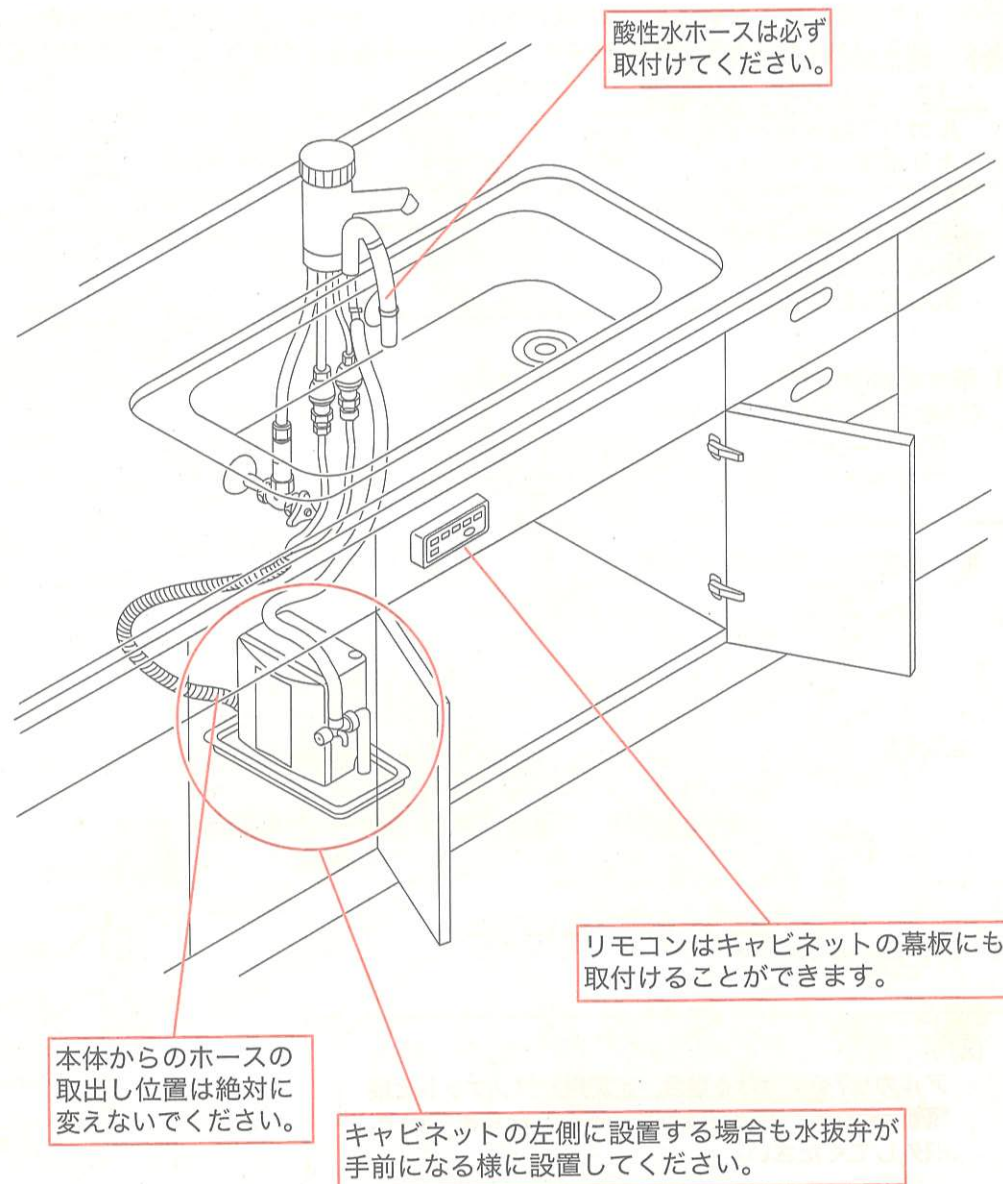
手渡しできない場合は、工事完了後ハンドルなどに吊り下げておいてください。

アルカリ7本体との接続

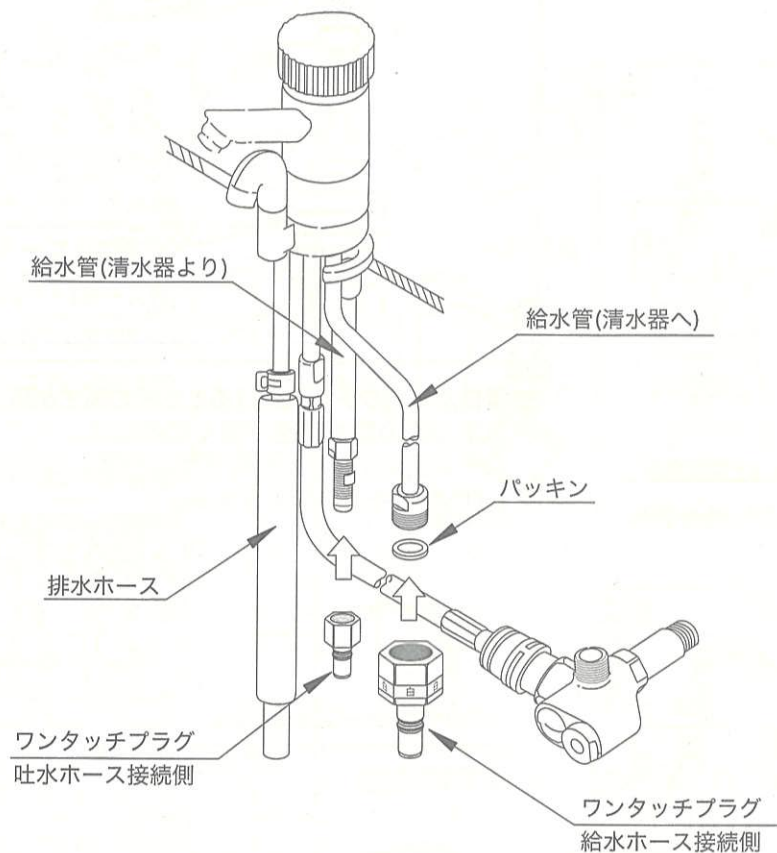
＜キャビネットの右側に設置する場合＞



＜キャビネットの左側に設置する場合＞



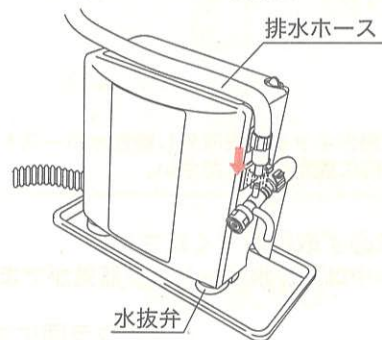
①水栓の接続管にワンタッチプラグを接続する



給水管(清水器へ)にワンタッチプラグ(給水ホース接続側)を給水管(清水器より)にワンタッチプラグ(吐水ホース接続側)を接続します。

②アルカリ7本体を設置する

③水抜弁に排水ホースを接続する

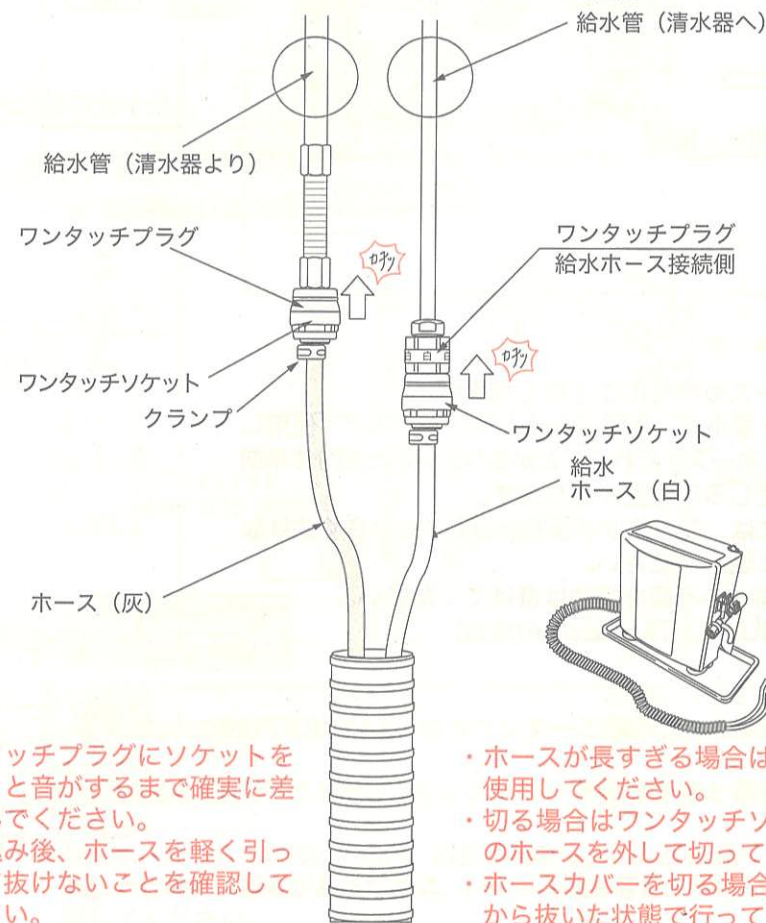


排水ホース(透明)を水抜弁に差し込んでください。
排水ホースが長すぎる場合は、ハサミ等で切ってください。

ホースは根元まで確実に差し込んでください。

クランプは断熱材の上から確実にとめてください。

④水栓のワンタッチプラグとホースのワンタッチソケットを接続する



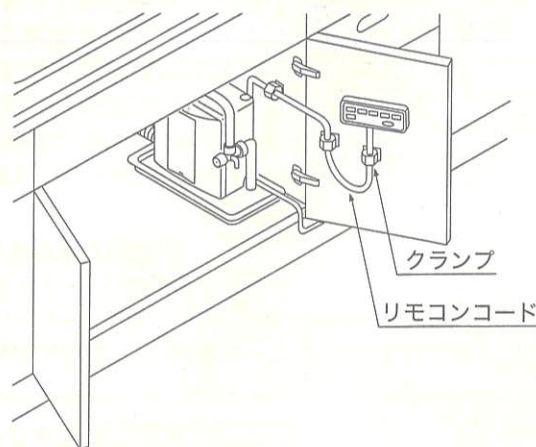
- ・ワンタッチプラグにソケットをカチッと音がするまで確実に差し込んでください。
- ・差し込み後、ホースを軽く引っ張って抜けないことを確認してください。

- ・ホースが長すぎる場合は、切って使用してください。
- ・切の場合はワンタッチソケット側のホースを外して切ってください。
- ・ホースカバーを切る場合はホースから抜いた状態で行ってください。
- ・クランプは確実に取付けてください。

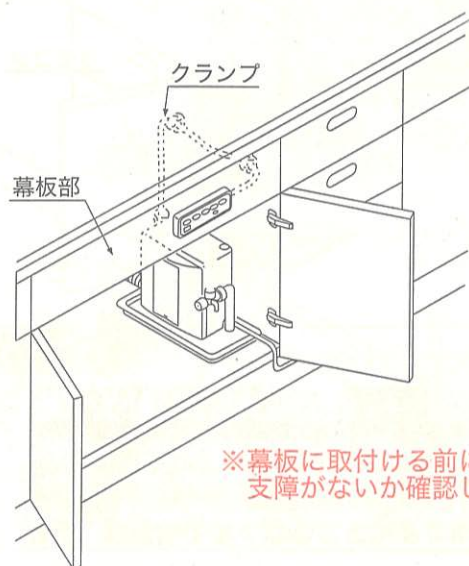
リモコンの取付け

リモコンはキャビネットの扉内側か、内壁、あるいはキャビネットの幕板に取付けます。

■キャビネットの扉内側、キャビネット内壁に取付ける場合
リモコンコードは図の様に上下にたるませ、扉の開閉に支障のない様にクランプで取付けてください。



■キャビネットの幕板部に取付ける場合
リモコンコードは図の様に、扉の開閉に支障のない様にクランプで取付けてください。

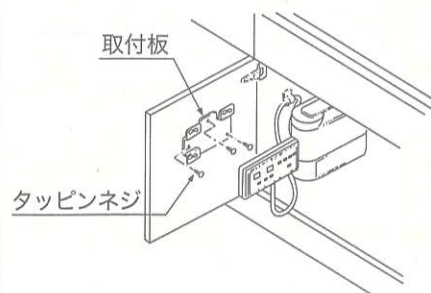


※幕板に取付ける前に炊事等の作業に支障がないか確認してください。

最後にリモコンと本体のケーブルを接続してください。

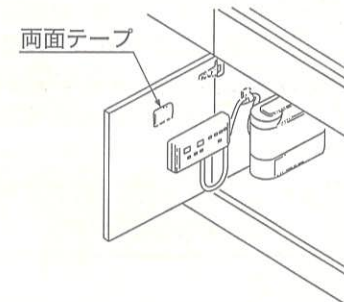
■カウンタ上への取付けはTH632-13#N11(別売品)の施工説明書をご覧ください。

キャビネット材質が木製の場合



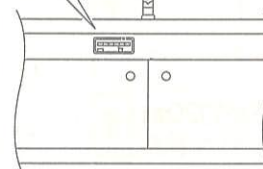
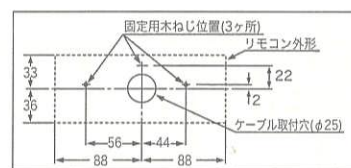
付属のタッピンネジ3本で取付板を取付け、上からリモコンをはめ込みます。

キャビネット材質が木製以外の場合

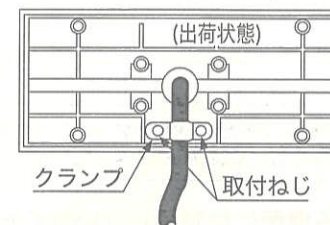


あらかじめ取付板とリモコンを組んでおき、取付板の裏側に両面シールを貼り付け、そのまま操作しやすい場所へ、強く押し付けて固定してください。

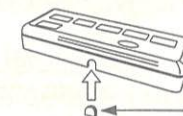
①幕板に穴を開けます。



②リモコンケーブルのクランプを外します。



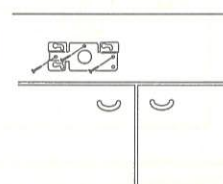
取付ねじとクランプを外します。



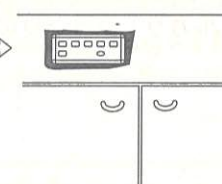
下部の切欠にパッキンを取付けてください。

パッキン

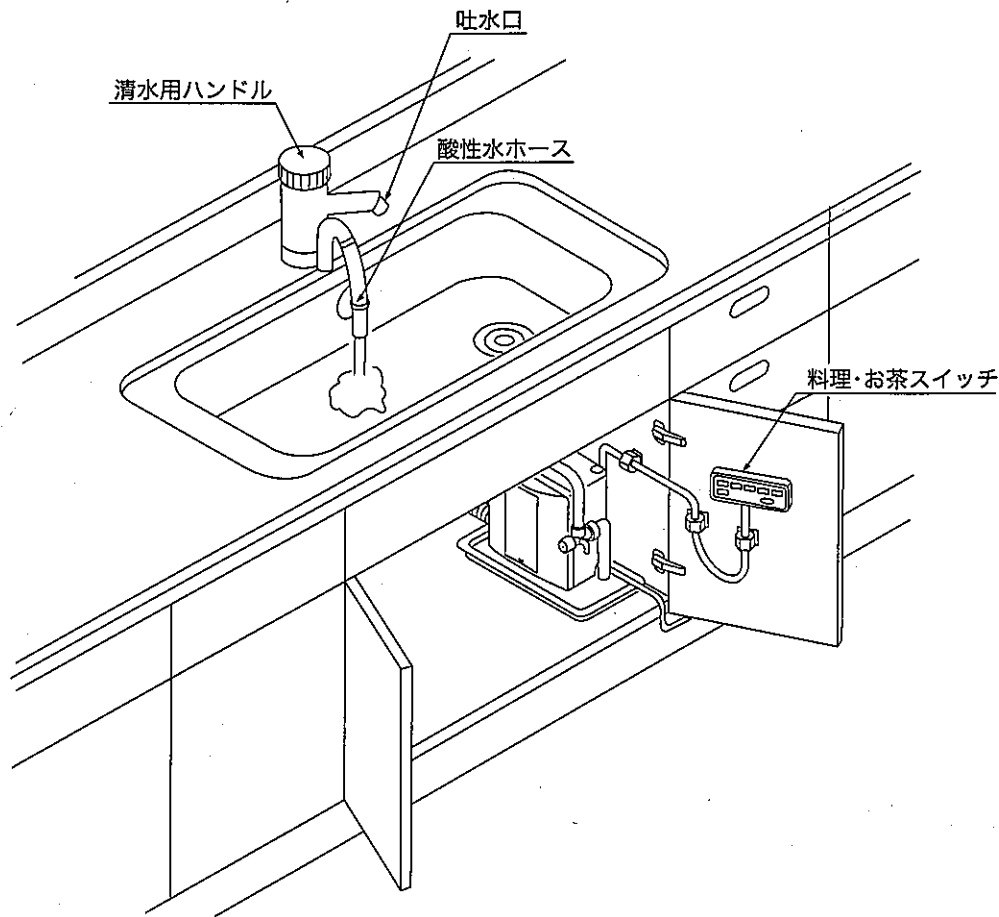
③幕板に取付板を取付けます。



④リモコンケーブルを穴に通し、取付板にリモコンを取付け、全周にシリコンコーキングを塗布してください。



通水確認



	実施項目	確認内容	不具合対応
1	電源プラグをコンセントに差し込みます。	モーター音がした後(中性清水)ランプ(緑色)が点灯します。	もう一度、電源プラグを抜き差ししてください。
2	清水用ハンドルを全開にしてアルカリ7に水を流します。	酸性水ホースから自動的に約1分間の排水が出ます。排水が終わるまで水を流してください。その後、吐水口から水がでます。通水中に、各部から漏水がないかどうか確認してください。	排水が完了しない場合 →水圧が低い不是吗？ 水圧が0.07MPa以下の地域では使用できません。 水が全くでない場合 →給水ホースと吐水ホースの接続は間違い(逆接続)はない不是吗？
3	アルカリモードへ切替える。(料理・お茶スイッチを押す)	モーター音がした後(アルカリ)ランプ(緑色)が点灯します。酸性水ホースからも水が出ます。	もう一度、最初からやり直してください。
4	水を止める。	各部から漏れがないかどうか確認してください。	